



平成27年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社マツモトキヨシホールディングス
コード番号 3088 東証第1部
代 表 者 名 代表取締役社長 松本 清雄
問 合 せ 先 執行役員財務経理部長 石橋 昭男
TEL 047-344-5110

（訂正）「平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

当社は、平成25年8月7日に開示いたしました「平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日（平成27年11月11日）付「平成28年3月期第1四半期決算短信及び過年度に係る決算短信等（訂正版）の公表について」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場会社名 株式会社マツモトキヨシホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3088 URL <http://www.matsumotokivoshi-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 松本南海雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 尾和富士雄 TEL 047-344-5110
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	118,280	6.2	5,162	28.8	5,694	24.5	3,074	53.9
25年3月期第1四半期	111,335	5.4	4,009	△5.9	4,573	△4.3	1,998	△7.8

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 3,145百万円(42.1%) 25年3月期第1四半期 2,214百万円(△9.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	58.03	56.31
25年3月期第1四半期	43.02	36.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	230,708	139,567	59.9	2,590.27
25年3月期	228,231	136,702	59.3	2,571.35

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 138,151百万円 25年3月期 135,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

平成25年3月期 期末配当30円00銭には、記念配当(マツモトキヨシ創業80周年記念)10円00銭が含まれております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	233,000	2.3	8,600	1.9	9,600	1.1	5,200	9.1	98.81
通期	470,000	3.0	20,000	1.6	22,000	1.5	12,500	10.9	237.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無
新規 - 社(社名)、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 無

② ①以外の会計方針の変更: 無

③ 会計上の見積りの変更: 無

④ 修正再表示: 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	53,579,014株	25年3月期	53,579,014株
26年3月期1Q	244,359株	25年3月期	953,679株
26年3月期1Q	52,970,798株	25年3月期1Q	46,443,815株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
5. 補足情報	11
売上及び仕入の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）における日本経済の状況は、現政権による経済政策への期待を背景に、昨年末より円安が進行し株価が上昇するなど、先行きの不透明感は拭えないものの、各種の景気指標は好転しており経済活動には明るさも見られております。

ドラッグストア業界におきましては、競合企業の積極的な新規出店、既存の店舗展開エリアを越えた新たな競合の出現、同質化する異業種との競争や医薬品ネット販売への対応など、我々を取り巻く経営環境はこれまで以上に大きく変化しております。

このような環境のなか、当社グループは、小商圏化する市場への対応として、各地域における競争優位性を確保すべく全国を7つのエリアに分け、エリアドミナント戦略を積極的に推進するとともに、ターゲット別のライフスタイルの変化に対応したMD戦略の再構築など、地域に密着したかかりつけの薬局として、企業価値の向上とシェア拡大に向け取り組んでまいりました。

新規出店に関しては、関東エリアを中心にエリアドミナント化を推し進めるとともに新たなエリアへ侵攻し、グループとして23店舗（フランチャイズ2店舗を含む）を出店し、多様化するお客様ニーズへの対応及び既存店舗の活性化を重点に34店舗の改装を実施、スクラップ&ビルドを含め将来業績への貢献が見込めない9店舗を閉鎖しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間末におけるグループ店舗数は、1,404店舗となり、前連結会計年度末と比較して14店舗増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高1,182億80百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益51億62百万円（同28.8%増）、経常利益56億94百万円（同24.5%増）、四半期純利益30億74百万円（同53.9%増）と、売上高及び各利益とも同期間における過去最高となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<小売事業>

小売事業は、連結子会社の増加、新規出店、改装による既存店舗の活性化、地域ニーズに合わせたきめ細かな品揃えの拡充や営業時間の延長などによる利便性の追求、継続されている効率的かつ効果的な販促策および新たな施策の推進などにより収益は大きく伸長しました。

また、展開を強化しております調剤事業に関しましても、既存店への併設を含め高い収益性が見込める物件を優先的に開局するとともに、株式会社マツモトキヨシファーマシーズの新規開設や地域医療連携を深めることで処方箋応需枚数が増加したことなどから引き続き順調に拡大しております。

<卸売事業>

卸売事業は、株式会社オークワとのフランチャイズ契約の締結、既存契約企業の新規出店などにより拡大した一方、株式会社モリスリテール及び杉浦薬品株式会社の2社を完全子会社化したことに伴い、両社収益が小売事業に寄与したため、卸売事業売上は減少しました。

このような営業活動に基づき、小売事業の売上高は1,130億39百万円（前年同期比6.5%増）、卸売事業44億48百万円（同1.0%減）、管理サポート事業7億92百万円（同9.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は2,307億8百万円となり、前連結会計年度末に比べて24億77百万円増加いたしました。主な要因は、商品が18億92百万円、現金及び預金が15億70百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は911億41百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億86百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が44億76百万円増加したものの、未払法人税等が29億31百万円、1年内償還予定の新株予約権付社債が13億3百万円、賞与引当金が13億2百万円それぞれ減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,395億67百万円となり、前連結会計年度末に比べて28億64百万円増加いたしました。主な要因は、配当金による15億78百万円の減少があったものの、四半期純利益30億74百万円の計上や、自己株式の処分16億65百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,563	13,133
受取手形及び売掛金	11,846	11,319
商品	<u>59,227</u>	<u>61,119</u>
貯蔵品	508	532
その他	16,604	15,775
貸倒引当金	△186	△170
流動資産合計	<u>99,563</u>	<u>101,711</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	42,041	42,041
その他	24,313	24,701
有形固定資産合計	<u>66,355</u>	<u>66,742</u>
無形固定資産		
のれん	6,655	6,519
その他	4,073	3,929
無形固定資産合計	<u>10,728</u>	<u>10,449</u>
投資その他の資産		
敷金及び保証金	35,542	35,694
その他	16,599	16,642
貸倒引当金	△557	△530
投資その他の資産合計	<u>51,584</u>	<u>51,805</u>
固定資産合計	<u>128,668</u>	<u>128,997</u>
資産合計	<u>228,231</u>	<u>230,708</u>

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,593	60,070
短期借入金	300	—
1年内償還予定の新株予約権付社債	3,657	2,354
1年内返済予定の長期借入金	199	154
未払法人税等	4,463	1,532
賞与引当金	2,968	1,666
ポイント引当金	1,873	2,266
資産除去債務	20	19
その他	10,544	10,983
流動負債合計	<u>79,620</u>	<u>79,046</u>
固定負債		
長期借入金	91	66
退職給付引当金	1,202	1,237
資産除去債務	3,897	3,954
その他	6,717	6,836
固定負債合計	<u>11,908</u>	<u>12,094</u>
負債合計	<u>91,528</u>	<u>91,141</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,086	21,086
資本剰余金	21,866	21,866
利益剰余金	<u>93,697</u>	<u>94,827</u>
自己株式	<u>△2,238</u>	<u>△572</u>
株主資本合計	<u>134,411</u>	<u>137,207</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	906	943
その他の包括利益累計額合計	<u>906</u>	<u>943</u>
新株予約権	23	23
少数株主持分	1,361	1,393
純資産合計	<u>136,702</u>	<u>139,567</u>
負債純資産合計	<u>228,231</u>	<u>230,708</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	111,335	118,280
売上原価	80,346	84,206
売上総利益	30,988	34,074
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	356	395
給料及び手当	9,234	9,772
賞与引当金繰入額	1,501	1,608
退職給付費用	206	222
地代家賃	6,106	6,431
その他	9,573	10,481
販売費及び一般管理費合計	26,979	28,911
営業利益	4,009	5,162
営業外収益		
受取利息	45	44
受取配当金	122	133
固定資産受贈益	147	117
発注処理手数料	125	146
その他	239	109
営業外収益合計	680	550
営業外費用		
支払利息	31	8
貸倒引当金繰入額	51	—
持分法による投資損失	20	—
その他	11	10
営業外費用合計	115	18
経常利益	4,573	5,694

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除却損	65	109
減損損失	483	380
投資有価証券評価損	252	—
その他	162	14
特別損失合計	964	504
税金等調整前四半期純利益	3,611	5,190
法人税、住民税及び事業税	834	1,474
法人税等調整額	743	605
法人税等合計	1,577	2,080
少数株主損益調整前四半期純利益	2,033	3,110
少数株主利益	35	36
四半期純利益	1,998	3,074

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,033	3,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	180	34
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	180	34
四半期包括利益	2,214	3,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,178	3,111
少数株主に係る四半期包括利益	35	33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換に伴い、自己株式を1,668百万円処分したこと等により、当第1四半期連結会計期間末の自己株式の残高は、572百万円となっております。

なお、当四半期連結会計期間以降、平成25年7月1日から平成25年7月31日までの期間において、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換に伴い、資本金が744百万円、資本剰余金が744百万円増加し、自己株式を562百万円処分しております。この結果、平成25年7月31日現在の資本金が21,830百万円、資本剰余金が22,610百万円、自己株式が12百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	63,252	42,863	41	4,451	726	111,335	—	111,335
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5	34	73,085	13,313	2,984	89,423	△89,423	—
計	63,258	42,897	73,126	17,765	3,710	200,758	△89,423	111,335
セグメント利益	2,551	1,165	101	21	310	4,151	△142	4,009

(注) 1. セグメント利益の調整額△142百万円には、のれんの償却額△235百万円及びセグメント間取引消去93百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額483百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で289百万円、「その他小売事業」で208百万円となり、連結決算における消去・調整で△14百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

株式取得により株式会社ダルマ薬局を連結したことや株式会社ぱすの株式を追加取得したことに伴い、新たにのれんが1,044百万円増加しております。

報告セグメントごとの増加額は、「調整額」で1,044百万円となっております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	65,023	48,016	139	4,309	792	118,280	—	118,280
セグメント間の 内部売上高又は振替高	10	61	78,320	13,076	2,184	93,652	△93,652	—
計	65,033	48,077	78,460	17,385	2,977	211,933	△93,652	118,280
セグメント利益又は セグメント損失（△）	3,511	1,491	341	134	△160	5,317	△155	5,162

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△155百万円には、のれんの償却額△239百万円及びセグメント間取引消去84百万円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額380百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で8百万円、「その他小売事業」で377百万円となり、連結決算における消去・調整で△4百万円となっております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

5. 補足情報

売上及び仕入の状況

① 事業部門別売上状況

当第1四半期連結累計期間の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
小売事業	113,039	106.5
卸売事業	4,448	99.0
管理サポート事業	792	109.2
合計	118,280	106.2

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

② 商品別売上状況

当第1四半期連結累計期間の売上実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
小売事業		
医薬品	34,057	106.3
化粧品	43,015	109.0
雑貨	23,001	104.3
食品	12,856	103.2
小計	112,930	106.5
卸売事業	4,260	97.1
合計	117,190	106.1

- (注) 1. 商品別売上状況は管理サポート事業を除いております。また、上記の金額には営業収入（テナントからの受取家賃及びフランチャイジーからのロイヤルティ収入等）は含まれておりません。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

③ 商品別仕入状況

当第1四半期連結累計期間の仕入実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	
	金額（百万円）	前年同四半期比（%）
小売事業		
医薬品	21,648	104.8
化粧品	31,181	112.2
雑貨	17,537	102.4
食品	11,252	102.4
小計	81,620	106.6
卸売事業	3,837	91.2
合計	85,457	105.8

- (注) 1. 商品別仕入状況は管理サポート事業を除いております。
 2. 仕入に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

(訂正前)



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場会社名 株式会社マツモトキヨシホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3088 URL <http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 松本南海雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 尾和富士雄 TEL 047-344-5110
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	118,280	6.2	5,162	28.8	5,694	24.5	3,074	53.9
25年3月期第1四半期	111,335	5.4	4,009	△5.9	4,573	△4.3	1,998	△7.8

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 3,145百万円(42.1%) 25年3月期第1四半期 2,214百万円(△9.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	58.03	56.31
25年3月期第1四半期	43.02	36.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	231,113	139,971	60.0	2,597.85
25年3月期	228,635	137,107	59.4	2,579.04

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 138,555百万円 25年3月期 135,722百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

平成25年3月期 期末配当30円00銭には、記念配当(マツモトキヨシ創業80周年記念)10円00銭が含まれております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	233,000	2.3	8,600	1.9	9,600	1.1	5,200	9.1	98.81
通期	470,000	3.0	20,000	1.6	22,000	1.5	12,500	10.9	237.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無
新規 - 社(社名)、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 無

② ①以外の会計方針の変更: 無

③ 会計上の見積りの変更: 無

④ 修正再表示: 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	53,579,014株	25年3月期	53,579,014株
26年3月期1Q	244,359株	25年3月期	953,679株
26年3月期1Q	52,970,798株	25年3月期1Q	46,443,815株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
5. 補足情報	11
売上及び仕入の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）における日本経済の状況は、現政権による経済政策への期待を背景に、昨年末より円安が進行し株価が上昇するなど、先行きの不透明感は拭えないものの、各種の景気指標は好転しており経済活動には明るさも見られております。

ドラッグストア業界におきましては、競合企業の積極的な新規出店、既存の店舗展開エリアを越えた新たな競合の出現、同質化する異業種との競争や医薬品ネット販売への対応など、我々を取り巻く経営環境はこれまで以上に大きく変化しております。

このような環境のなか、当社グループは、小商圏化する市場への対応として、各地域における競争優位性を確保すべく全国を7つのエリアに分け、エリアドミナント戦略を積極的に推進するとともに、ターゲット別のライフスタイルの変化に対応したMD戦略の再構築など、地域に密着したかかりつけの薬局として、企業価値の向上とシェア拡大に向け取り組んでまいりました。

新規出店に関しては、関東エリアを中心にエリアドミナント化を推し進めるとともに新たなエリアへ侵攻し、グループとして23店舗（フランチャイズ2店舗を含む）を出店し、多様化するお客様ニーズへの対応及び既存店舗の活性化を重点に34店舗の改装を実施、スクラップ&ビルドを含め将来業績への貢献が見込めない9店舗を閉鎖しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間末におけるグループ店舗数は、1,404店舗となり、前連結会計年度末と比較して14店舗増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高1,182億80百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益51億62百万円（同28.8%増）、経常利益56億94百万円（同24.5%増）、四半期純利益30億74百万円（同53.9%増）と、売上高及び各利益とも同期間における過去最高となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<小売事業>

小売事業は、連結子会社の増加、新規出店、改装による既存店舗の活性化、地域ニーズに合わせたきめ細かな品揃えの拡充や営業時間の延長などによる利便性の追求、継続されている効率的かつ効果的な販促策および新たな施策の推進などにより収益は大きく伸長しました。

また、展開を強化しております調剤事業に関しましても、既存店への併設を含め高い収益性が見込める物件を優先的に開局するとともに、株式会社マツモトキヨシファーマシーズの新規開設や地域医療連携を深めることで処方箋応需枚数が増加したことなどから引き続き順調に拡大しております。

<卸売事業>

卸売事業は、株式会社オークワとのフランチャイズ契約の締結、既存契約企業の新規出店などにより拡大した一方、株式会社モリスリテール及び杉浦薬品株式会社の2社を完全子会社化したことに伴い、両社収益が小売事業に寄与したため、卸売事業売上は減少しました。

このような営業活動に基づき、小売事業の売上高は1,130億39百万円（前年同期比6.5%増）、卸売事業44億48百万円（同1.0%減）、管理サポート事業7億92百万円（同9.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は2,311億13百万円となり、前連結会計年度末に比べて24億77百万円増加いたしました。主な要因は、商品が18億92百万円、現金及び預金が15億70百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は911億41百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億86百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が44億76百万円増加したものの、未払法人税等が29億31百万円、1年内償還予定の新株予約権付社債が13億3百万円、賞与引当金が13億2百万円それぞれ減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,399億71百万円となり、前連結会計年度末に比べて28億64百万円増加いたしました。主な要因は、配当金による15億78百万円の減少があったものの、四半期純利益30億74百万円の計上や、自己株式の処分16億65百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,563	13,133
受取手形及び売掛金	11,846	11,319
商品	<u>59,631</u>	<u>61,524</u>
貯蔵品	508	532
その他	16,604	15,775
貸倒引当金	△186	△170
流動資産合計	<u>99,967</u>	<u>102,115</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	42,041	42,041
その他	24,313	24,701
有形固定資産合計	<u>66,355</u>	<u>66,742</u>
無形固定資産		
のれん	6,655	6,519
その他	4,073	3,929
無形固定資産合計	<u>10,728</u>	<u>10,449</u>
投資その他の資産		
敷金及び保証金	35,542	35,694
その他	16,599	16,642
貸倒引当金	△557	△530
投資その他の資産合計	<u>51,584</u>	<u>51,805</u>
固定資産合計	<u>128,668</u>	<u>128,997</u>
資産合計	<u>228,635</u>	<u>231,113</u>

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,593	60,070
短期借入金	300	—
1年内償還予定の新株予約権付社債	3,657	2,354
1年内返済予定の長期借入金	199	154
未払法人税等	4,463	1,532
賞与引当金	2,968	1,666
ポイント引当金	1,873	2,266
資産除去債務	20	19
その他	10,544	10,983
流動負債合計	<u>79,620</u>	<u>79,046</u>
固定負債		
長期借入金	91	66
退職給付引当金	1,202	1,237
資産除去債務	3,897	3,954
その他	6,717	6,836
固定負債合計	<u>11,908</u>	<u>12,094</u>
負債合計	<u>91,528</u>	<u>91,141</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,086	21,086
資本剰余金	21,866	21,866
利益剰余金	<u>94,102</u>	<u>95,231</u>
自己株式	<u>△2,238</u>	<u>△572</u>
株主資本合計	<u>134,815</u>	<u>137,611</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	906	943
その他の包括利益累計額合計	<u>906</u>	<u>943</u>
新株予約権	23	23
少数株主持分	1,361	1,393
純資産合計	<u>137,107</u>	<u>139,971</u>
負債純資産合計	<u>228,635</u>	<u>231,113</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	111,335	118,280
売上原価	80,346	84,206
売上総利益	30,988	34,074
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	356	395
給料及び手当	9,234	9,772
賞与引当金繰入額	1,501	1,608
退職給付費用	206	222
地代家賃	6,106	6,431
その他	9,573	10,481
販売費及び一般管理費合計	26,979	28,911
営業利益	4,009	5,162
営業外収益		
受取利息	45	44
受取配当金	122	133
固定資産受贈益	147	117
発注処理手数料	125	146
その他	239	109
営業外収益合計	680	550
営業外費用		
支払利息	31	8
貸倒引当金繰入額	51	—
持分法による投資損失	20	—
その他	11	10
営業外費用合計	115	18
経常利益	4,573	5,694

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除却損	65	109
減損損失	483	380
投資有価証券評価損	252	—
その他	162	14
特別損失合計	964	504
税金等調整前四半期純利益	3,611	5,190
法人税、住民税及び事業税	834	1,474
法人税等調整額	743	605
法人税等合計	1,577	2,080
少数株主損益調整前四半期純利益	2,033	3,110
少数株主利益	35	36
四半期純利益	1,998	3,074

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,033	3,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	180	34
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	180	34
四半期包括利益	2,214	3,145
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,178	3,111
少数株主に係る四半期包括利益	35	33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換に伴い、自己株式を1,668百万円処分したこと等により、当第1四半期連結会計期間末の自己株式の残高は、572百万円となっております。

なお、当四半期連結会計期間以降、平成25年7月1日から平成25年7月31日までの期間において、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換に伴い、資本金が744百万円、資本剰余金が744百万円増加し、自己株式を562百万円処分しております。この結果、平成25年7月31日現在の資本金が21,830百万円、資本剰余金が22,610百万円、自己株式が12百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	63,252	42,863	41	4,451	726	111,335	—	111,335
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5	34	73,085	13,313	2,984	89,423	△89,423	—
計	63,258	42,897	73,126	17,765	3,710	200,758	△89,423	111,335
セグメント利益	2,551	1,165	101	21	310	4,151	△142	4,009

(注) 1. セグメント利益の調整額△142百万円には、のれんの償却額△235百万円及びセグメント間取引消去93百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額483百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で289百万円、「その他小売事業」で208百万円となり、連結決算における消去・調整で△14百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

株式取得により株式会社ダルマ薬局を連結したことや株式会社ぱすの株式を追加取得したことに伴い、新たにのれんが1,044百万円増加しております。

報告セグメントごとの増加額は、「調整額」で1,044百万円となっております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	65,023	48,016	139	4,309	792	118,280	—	118,280
セグメント間の 内部売上高又は振替高	10	61	78,320	13,076	2,184	93,652	△93,652	—
計	65,033	48,077	78,460	17,385	2,977	211,933	△93,652	118,280
セグメント利益又は セグメント損失（△）	3,511	1,491	341	134	△160	5,317	△155	5,162

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△155百万円には、のれんの償却額△239百万円及びセグメント間取引消去84百万円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額380百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で8百万円、「その他小売事業」で377百万円となり、連結決算における消去・調整で△4百万円となっております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

5. 補足情報

売上及び仕入の状況

① 事業部門別売上状況

当第1四半期連結累計期間の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
小売事業	113,039	106.5
卸売事業	4,448	99.0
管理サポート事業	792	109.2
合計	118,280	106.2

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

② 商品別売上状況

当第1四半期連結累計期間の売上実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
小売事業		
医薬品	34,057	106.3
化粧品	43,015	109.0
雑貨	23,001	104.3
食品	12,856	103.2
小計	112,930	106.5
卸売事業	4,260	97.1
合計	117,190	106.1

- (注) 1. 商品別売上状況は管理サポート事業を除いております。また、上記の金額には営業収入（テナントからの受取家賃及びフランチャイジーからのロイヤルティ収入等）は含まれておりません。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

③ 商品別仕入状況

当第1四半期連結累計期間の仕入実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	
	金額（百万円）	前年同四半期比（%）
小売事業		
医薬品	21,648	104.8
化粧品	31,181	112.2
雑貨	17,537	102.4
食品	11,252	102.4
小計	81,620	106.6
卸売事業	3,837	91.2
合計	85,457	105.8

- (注) 1. 商品別仕入状況は管理サポート事業を除いております。
 2. 仕入に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。